

統計調査ニュース

平成29年（2017）10月

No.371



45年目を迎える「統計の日」～10月18日～

総務省政策統括官（統計基準担当） 三宅 俊光

10月18日は「統計の日」です。今年には「統計の日」が昭和48年に制定されてからちょうど45年目に当たります。

そこで、今回は、皆様と一緒に10月18日が「統計の日」と定められた由来を振り返ってみますと、時は明治に遡ります。

明治維新の後、明治政府は、日本を欧米諸国に並ぶ強国にするため、近代産業を興すことを目指しましたが、その第一歩として、国内の生産の状況を把握する必要がありました。

そこで、全国の農産物、海産物や林産物、陶器や薬品などの加工品について、一年間の生産量を調査し、統計を作成しました。

これを「府県物産表」と言い、我が国初の近代的統計と言われていきます（その複製が総務省統計資料館（新宿区若松町）で展示されて

います。）。

この「府県物産表」の作成を命じる太政官布告が出されたのが、今から約150年前の明治3年9月24日です。当時は太陰暦でしたので、これを太陽暦に換算すると、10月18日になるという訳です。

昭和48年の閣議了解によって、この重要な統計の始まりとなった10月18日が「統計の日」とされました。

同時に、この日を中心に、地方自治体の協力を得て全国で様々な行事を行い、国民の皆様の統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の協力を得るよう、取り組むことになりました。

今年もその一環として「統計の日」の標語『統計が教えてくれる地域力』を使ったポスターを作成しましたので、広報啓発に広く活用して

いただきたいと思います。

ちなみに、ここ5年の標語応募状況をみると、平成25年の約5千件から29年の約1万件へと倍増しています。統計に対する関心が広がっているものと大変うれしい限りです。

「統計の日」制定45年目を迎える今年には、折しもGDP統計の改善を始めとした統計改革が政府の重要課題となっています。

その実行に向けて、統計行政関係者はもとより、統計調査の報告者、統計の利用者となる国民・事業者の皆様の理解と協力が一層重要になっています。

「統計の日」を契機に、一層広報啓発に努めてまいりますので、関係各位の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

45年目を迎える「統計の日」～10月18日～	1	「あなたの回答で見えてくる、より良い暮らし。」	
統計界の最高の栄誉「大内賞」の平成29年度受賞者決定	2	～4つの統計調査の広報～	7
地方統計大会等の開催予定（平成29年度）	3	平成30年度概算要求の概要	8
統計からみた我が国の高齢者（65歳以上）	4	中核市発とうけい通信 [®]	9



統計界の最高の栄誉 「大内賞」の平成29年度受賞者決定



大内賞とは

大内賞は、戦後における我が国の統計の再建に政府の統計委員会委員長として尽力した大内兵衛（おおうち ひょうえ）博士の業績を記念して、昭和28年度に広く統計関係者の士気の高揚と統計知識の普及に寄与することを目的に設けられたもので、我が国の統計の進歩に貢献した個人、団体等に贈られます。

創設以来、国、都道府県、統計関係団体等から候補者の推薦を受けて大内賞委員会が選考し、平成28年度までに311名、3団体が受賞しています。

大内博士の業績

大内博士は、我が国の統計及び統計制度の再建のために昭和21年12月に設けられた当時の統計委員会の委員長として、統計の基本法である統計法（昭和22年法律第18号）の立案に参画されたほか、官庁統計機構の整備充実、統計体系整備のための各種統計調査の調整等に尽力されました。我が国の現在の統計制度の基盤は、この時期に確立されたといえます。

また、当時の統計委員会が行政管理庁（現総務省）と統合した後は、引き続き、統計審議会会長として重責を担われるなど、戦後の我が国の統計及び統計制度の改善・発達に大きな足跡を残されました。

選考方法と特色

- 大内賞の選考は、大内賞委員会（統計委員会の委員長及び部会長で構成）が当たります。
- 候補者は、次のいずれかの面で、我が国の統計の進歩に貢献した者とされています。
 - ・ 著書、論文等によって、我が国の統計実務の進歩に直接貢献した人
 - ・ 多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人
 - ・ 多年統計の普及に努め、我が国の統計の進歩に貢献した人
 - ・ 統計の実務又は普及を通じ、我が国の統計の進歩に顕著な貢献をした人又は団体等

- 統計関係者に対する表彰制度としては、各府省大臣表彰制度や叙勲がありますが、大内賞は、受賞者の業績に対する厳しい審査及び官民を問わない広い選考範囲に特色があり、今日、統計関係者の中で、我が国における統計界の最高の栄誉であるとされています。

平成29年度の大内賞受賞者

大内賞委員会における審議の結果、我が国の統計の進歩に貢献された次の4氏に今年度の大内賞を贈ることが決定されました。

- 多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人

さかきばら 榊原 ひね 日根 びやしま 美谷島 よしはら 吉原	かずこ 和子氏 やすこ 裕子氏 かずこ 和子氏 せつこ 節子氏	（福島県：統計調査員） （和歌山県：統計調査員） （長野県：統計調査員） （福岡県：統計調査員）
--	--	---

五十音順

以上4氏の大内賞受賞者への表彰は、平成29年11月13日（月）の「第67回全国統計大会」（東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール」）において行われる予定で、当日大内賞委員会委員長から、賞状のほか副賞として大内兵衛博士の横顔をデザインしたメダル等が贈呈されます。



昨年度の受賞風景

地方統計大会等の開催予定 (平成29年度)

10月18日の「統計の日」を中心として、各都道府県では、地方統計大会や統計功労者表彰式が開催され、統計功労者表彰及び統計グラフコンクール入選者等の表彰、講演会等が実施されます。
また、各都道府県の統計グラフコンクール入選作品の展示会も開催されます。

◆平成29年度地方統計大会等開催予定

(平成29年9月1日現在)

都道府県名	開催年月日			開催時刻	統計大会等の名称	開催場所	
						都市名	会場
北海道	H29	10	31	火	14:00~14:40	平成29年度北海道社会貢献賞(統計功労)表彰式	札幌市 ホテル札幌ガーデンパレス
青森県	H29	11	7	火	13:00~15:30	第56回青森県統計大会	黒石市 黒石市津軽伝承工芸館
岩手県	H29	11	9	木	13:30~15:30	平成29年度岩手県統計大会	北上市 北上市文化交流センター(さくらホール)
宮城県	H29	11	15	水	13:00~	平成29年度宮城県統計大会	多賀城市 多賀城市市民会館
秋田県	H29	11	9	木	14:00~14:40	平成29年度秋田県統計功労者表彰式	秋田市 秋田県庁第二庁舎8階大会議室
山形県	H29	11	30	木	13:30~16:00	第44回山形県統計大会	山形市 山形テルサ
福島県	H29	11	17	金	13:30~15:00	平成29年度福島県統計功労者表彰式	福島市 サンパレス福島
新潟県						平成29年度は開催予定なし	
茨城県	H30	1	17	水	午後	茨城県統計功労者表彰式	水戸市 茨城県庁9F講堂
栃木県	H29	12	11	月	13:30~15:30	第55回栃木県統計大会	宇都宮市 栃木県総合文化センター サブホール
群馬県	H30	1	12	金	14:00~15:00	平成29年度群馬県統計大会	前橋市 群馬会館
埼玉県	H29	11	22	水	14:00~16:00	平成29年度埼玉県統計功労者表彰式	さいたま市 埼玉会館
千葉県	H30	1	24	水	13:15~	平成29年度統計功労者表彰式・統計調査員研修会	千葉市 青葉の森公園芸術文化ホール
東京都	H29	11	14	火	14:30~15:30	平成29年度統計功労者表彰伝達式・第65回東京都統計グラフコンクール表彰式	新宿区 東京都庁第一本庁舎5階大会議場
神奈川県	H29	12	2	土	11:00~	神奈川県統計功労者表彰式	横浜市 かながわ労働プラザ 多目的ホール
山梨県	H29	11	18	土	13:30~14:30	平成29年度山梨県統計功績者表彰式・各省大臣表彰等伝達式及び第65回山梨県統計グラフコンクール表彰式	甲府市 山梨県立男女共同参画推進センター
長野県	H29	11	1	水	13:30~15:00	平成29年度長野県統計功労者表彰式	長野市 ホテル国際21
静岡県	H29	11	28	火	13:30~15:30	平成29年度静岡県統計功労者表彰式	静岡市 しずぎんホール ユーフォニア
富山県	H29	11		未定		平成29年度富山県統計功労者表彰式	富山市 富山県庁大ホール
石川県	H29	11		未定	30分程度	石川県統計功労者表彰式	金沢市 石川県庁行政庁舎
岐阜県	H29	11	16	木	13:30~14:30	平成29年度岐阜県統計功労者表彰式	岐阜市 岐阜県図書館
愛知県	H29	11	24	金	14:00~15:30	平成29年度愛知県統計功労者表彰式	名古屋市 ウィルホール ウィルあいち(愛知県女性総合センター)4階
三重県	H29	11	14	火	14:00~15:00	平成29年度三重県統計功労者表彰式	津市 三重県庁講堂
福井県	H29	11	16	木	11:00~12:00	福井県統計功労者表彰式	福井市 福井県庁正庁(地下2階)
滋賀県	H29	11	24	金	13:30~14:30	平成29年度滋賀県統計事務功績者表彰伝達式	大津市 滋賀県庁新館7階大会議室
京都府	H30	1		未定	45分程度	平成29年度統計功労者表彰式	京都市 未定
大阪府	H29	11	22	水	14:00~15:40	平成29年度大阪府統計功労者表彰式及び記念演奏会	大阪市 暁洲ホール(さきしまぼーる)
兵庫県	H29	11	27	月	13:30~15:30	平成29年度兵庫県統計功労者表彰式	神戸市 兵庫県公館
奈良県	H29	11	18	土	13:30~15:30	平成29年度奈良県統計功労者表彰式・奈良県統計グラフコンクール表彰式	奈良市 東大寺金鐘ホール
和歌山県	H29	11	20	月	13:30~16:00	平成29年度和歌山県統計大会	和歌山市 ホテル アバローム紀の国
鳥取県	H29	11	21	火	13:30~	平成29年度鳥取県統計功労者表彰式	倉吉市 鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム3
島根県	H29	12	21	木	13:00~16:00	第68回島根県統計大会	大田市 島根県立男女共同参画センター あすてらす
岡山県	H29	11	14	火	13:30~15:00	平成29年度岡山県統計功労者・統計グラフコンクール表彰式	岡山市 ビュアリティまきび
広島県	H29	11	24	金	14:00~15:00	広島県統計功労者表彰式	広島市 広島県庁舎本館6階講堂
山口県	H29	11	22	水	未定	第65回山口県統計大会	山口市 山口県庁職員ホール
徳島県	H29	12		未定		第66回徳島県統計大会(徳島県統計功労者表彰式)※未定	徳島市 徳島グランヴィリオホテル ※予定
香川県	H29	11	7	火	14:30	平成29年度統計功労者・優良事業所・統計グラフコンクール表彰式	高松市 香川県社会福祉総合センター コミュニティホール
愛媛県	H29	5	24	水	13:15~13:45	平成29年度愛媛県統計協会統計功労者表彰式	松山市 愛媛県庁 第一別館 11階会議室
高知県	H29	11	14	火	11:00~	平成29年度統計調査功績者各府省大臣等表彰伝達式・統計功績者高知県統計協会会長表彰式	高知市 高知会館
福岡県	H29	11	15	水	13:30~14:30	福岡県統計功績者表彰式	福岡市 福岡県吉塚合同庁舎803会議室
佐賀県	H29	11	21	火	未定	平成29年度統計功績者表彰伝達式及び佐賀県統計功労者表彰式・統計グラフコンクール入賞者表彰式	佐賀市 佐賀県庁旧館4階正庁
長崎県	H29	12		未定		統計功績者表彰伝達式及び統計グラフコンクール入賞者表彰式	長崎市 ホテル セントヒル長崎
熊本県	H29	11	22	水	14:00~15:00	平成29年度統計功労者表彰式	熊本市 熊本県庁地下大会議室
大分県	H29	11	27	月	13:30~	平成29年度統計功労者表彰伝達式	大分市 大分県庁新館14階大会議室
宮崎県	H29	11	22	水	14:00~	平成29年度宮崎県統計功績者表彰式	宮崎市 宮崎県庁講堂
鹿児島県						平成29年度は開催予定なし	
沖縄県	H29	12	8	金	16:00~17:00	平成29年度沖縄県統計功績者表彰伝達式及び統計グラフコンクール入賞者表彰式	那覇市 沖縄県庁4階 講堂

※詳細は各都道府県にお問い合わせください。

統計から見た我が国の高齢者（65歳以上）

「敬老の日」（9月18日）にちなみ、統計から見た我が国の高齢者のすがたについて取りまとめましたので、その概要を紹介します。

I 高齢者の人口

総人口が21万人減少する一方、高齢者は57万人増加

我が国の総人口（10月1日現在）は、平成17年に戦後初めて減少した後、20年にピークとなり、23年以降、継続して減少しています。平成29年9月15日現在の推計では1億2671万人と、前年（1億2692万人）と比較すると21万人の減少となりました。

一方、65歳以上の高齢者（以下「高齢者」といいます。）人口は、昭和25年以降、一貫して増加し、平成24年に3000万人を超えています。平成29年9月15日現在の推計では3514万人と、前年と比較すると57万人の増加となっています。

高齢者を男女別にみると、男性は1525万人、女性は1988万人で、女性が男性より463万人多くなっています。また、人口性比（女性100人に対する男性の数）をみると、15歳未満では105.0、15～64歳では102.3と男性が多いのに対し、65歳以上では76.7と女性が多くなっています。（表1）

総人口に占める高齢者人口の割合は27.7%と、過去最高

総人口に占める高齢者人口の割合は27.7%となり、前年（27.2%）と比較すると、0.5ポイント増と、過去最高となりました。

男女別にみると、男性は24.7%、女性は30.6%となっており、男性は約4人に1人が高齢者となっています。（表1）

90歳以上人口が初めて200万人を超える

年齢階級別にみると、70歳以上人口は2519万人（総人口の19.9%）で、前年と比較すると、91万人、0.8ポイント増となり、我が国の約5人に1人が70歳以上となっています。75歳以上人口は1747万人（同13.8%）で、前年と比較すると、59万人、0.5ポイント増、80歳以上人口は1074万人（同8.5%）で、37万人、0.3ポイント増となりました。また、90歳以上人口は206万人（同1.6%）で、前年と比較すると、14万人、0.1ポイント増となり、初めて200万人を超えました。（表1）

総人口に占める高齢者人口の割合の推移をみると、昭和25年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、60年に10%、平成17年に20%を超え、29年は27.7%となりました。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期（昭和

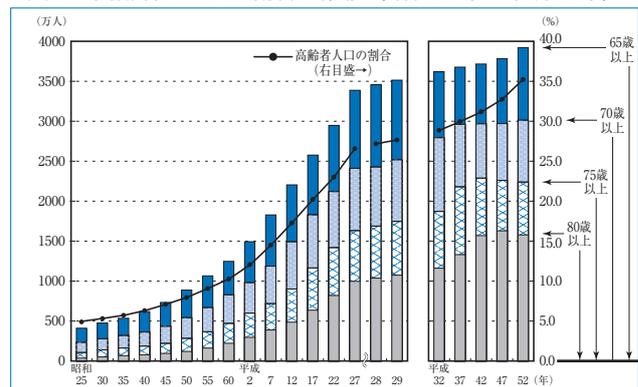
46年～49年）に生まれた世代が65歳以上となる平成52年（2040年）には、35.3%になると見込まれています。（図1）

表1 年齢3区分別人口及び割合（平成28年、29年）
－ 9月15日現在

区 分	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	95歳以上	100歳以上	
					人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)
平成29年	人 口(万人)	12671	1562	7596	3514	2519	1747	1074	545	206	48	7
	男女計											
	男	6166	800	3840	1525	1045	683	382	167	50	8	1
	女	6505	762	3755	1988	1475	1064	691	378	156	40	6
	総人口に占める割合(%)											
	男女計	100.0	12.3	59.9	27.7	19.9	13.8	8.5	4.3	1.6	0.4	0.1
	男	100.0	13.0	62.3	24.7	16.9	11.1	6.2	2.7	0.8	0.1	0.0
	女	100.0	11.7	57.7	30.6	22.7	16.4	10.6	5.8	2.4	0.6	0.1
	人口性比 ^(※)	94.8	105.0	102.3	76.7	70.8	64.2	55.3	44.2	31.9	20.1	14.9
	平成28年	人 口(万人)	12692	1579	7656	3457	2428	1688	1037	519	192	45
男女計												
男		6176	808	3868	1499	1001	656	366	157	45	8	1
女		6516	770	3788	1958	1427	1032	671	362	147	37	6
総人口に占める割合(%)												
男女計		100.0	12.4	60.3	27.2	19.1	13.3	8.2	4.1	1.5	0.4	0.1
男		100.0	13.1	62.6	24.3	16.2	10.6	5.9	2.5	0.7	0.1	0.0
女		100.0	11.8	58.1	30.0	21.9	15.8	10.3	5.6	2.3	0.6	0.1
人口性比 ^(※)		94.8	104.9	102.1	76.5	70.1	63.6	54.6	43.4	30.8	20.3	15.4

資料：「人口推計」
 (※) 女性100人に対する男性の数
 (注) 表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

図1 高齢者人口及び割合の推移（昭和25年～平成52年）



資料：昭和25年～平成27年は「国勢調査」、平成28年及び29年は「人口推計」、平成32年以降は「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保障・人口問題研究所）から作成
 (注1) 平成28年及び29年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在
 (注2) 国勢調査による人口及び割合は、年齢不詳をあん分した結果
 (注3) 昭和45年までは沖縄県を含まない。

Ⅱ 高齢者の人口移動（日本人移動者）

高齢者の転出超過数は東京都が最も多く、転入超過数は埼玉県が最も多い

平成28年の高齢者の都道府県間移動者数（都道府県の境界を越えて住所を移した人数）は10万8588人で、都道府県間移動率（男女年齢階級別人口^(※1)に対する移動者数の比率）は0.32%となっています。移動率を年齢5歳階級別にみると、85歳以上で高い傾向がみられます。また、男女別にみると、男性は65～69歳が最も高く、女性は85歳以上が比較的高くなっています。

高齢者の転入・転出超過数を都道府県別にみると、転出超過数は東京都が6,132人と最も多く、次いで大阪府、熊本県など26都道府県で転出超過となっています。また、熊本県など5府県で、前年の転入超過から転出超過に転じています。

一方、転入超過数をみると、埼玉県が2,605人と最も多く、次いで千葉県、茨城県など21県で転入超過^(※2)となっています。

(※1) 「平成28年10月1日現在人口推計」

(※2) 転入超過数0の都道府県については転入超過に含める。

Ⅲ 高齢者の就業

高齢者の就業者数は、13年連続で増加し、770万人と過去最多

就業者総数に占める高齢者の割合は、11.9%と過去最高

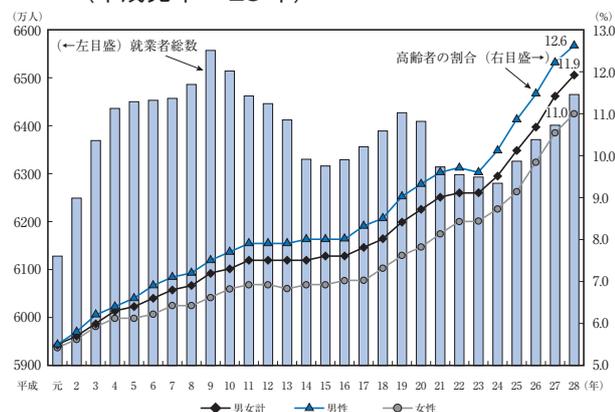
平成28年の高齢者の就業者数は、13年連続で前年に比べ増加し、770万人と過去最多^(※)となっています。

また、平成28年の高齢者の就業率は、男性が30.9%、女性が15.8%と、いずれも5年連続で前年に比べ上昇しています。

15歳以上の就業者総数に占める高齢者の割合は11.9%と、過去最高^(※)となっています。（図2）

(※) 比較可能な昭和43年以降

図2 就業者総数に占める高齢者の割合の推移
(平成元年～28年)



資料：「労働力調査」（基本集計）

(注) 平成23年は、東日本大震災に伴う補完推計値

高齢雇用者の4人に3人は、非正規の職員・従業員

高齢者の非正規の職員・従業員は、10年間で約2.5倍に増加

高齢者の就業者（以下「高齢就業者」といいます。）を従業上の地位別にみると、役員を除く雇用者が400万人で高齢就業者の52.3%、自営業主・家族従業者が263万人で同34.4%、会社などの役員が102万人で同13.3%となっています。さらに、高齢者の役員を除く雇用者（以下「高齢雇用者」といいます。）を雇用形態別にみると、非正規の職員・従業員が高齢雇用者の75.1%を占めており、そのうちパート・アルバイトの割合が51.1%と最も高くなっています。

また、高齢雇用者について、正規・非正規の職員・従業員の推移をみると、正規・非正規共に増加傾向で推移していますが、特に非正規の職員・従業員は、平成18年の122万人から28年には301万人となり、10年間で約2.5倍と大きく増加しています。

非正規の職員・従業員について、男女とも「自分の都合のよい時間に働きたいから」が最多

雇用形態が非正規の職員・従業員の高齢雇用者について、現在の雇用形態について主な理由別の割合を男女別にみると、男女とも「自分の都合のよい時間に働きたいから」が最も高く男性は28.7%、女性は37.2%となっています。なお、女性は「家事・育児・介護等と両立しやすいから」が7.0%となっていますが、男性は0.7%となっています。

Ⅳ 高齢者の家計

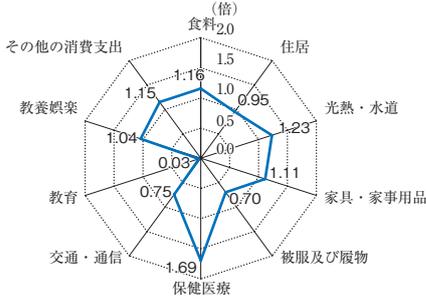
交際費、保健医療への支出割合が高い高齢者世帯

世帯主が65歳以上である二人以上の世帯（高齢者世帯）について、平成28年の消費支出の10大費目別構成比を世帯主が65歳未満の世帯と比較すると、「保健医療」が1.69倍と最も高くなっています。内訳をみると、「健康保持用摂取品」が2.67倍と高くなっており、健康の維持・増進のため保健医療に費やす支出割合が高いという特徴がうかがえます。次いで「光熱・水道」が1.23倍、「食料」が1.16倍などとなっています。

「その他の消費支出」の内訳をみると、「交際費^(※)」が1.91倍と高くなっており、子や孫の世帯など世帯外への金品の贈与などが高くなっています。（図3、表2）

(※) 「家計調査」における交際費とは、世帯外の人への贈答品・祝い金などのほか、接待用支出や職場、地域などにおける諸会費及び負担費。なお、「世帯」とは、住居及び家計を共にしている人の集まりのこと。

図3 消費支出の構成比（世帯主が65歳未満の世帯に対する倍率）（平成28年：二人以上の世帯）



資料：「家計調査」（家計収支編）

表2 消費支出の10大費目別内訳及び構成比（平成28年：二人以上の世帯）

	1世帯当たり1か月の支出金額（円）				構成比（%）				世帯主が65歳未満の世帯に対する倍率①/②
	世帯主が65歳以上の世帯（高齢者世帯）	うち勤労者世帯	うち無職世帯	世帯主が65歳未満の世帯	世帯主が65歳以上の世帯（高齢者世帯）①	うち勤労者世帯	うち無職世帯	世帯主が65歳未満の世帯②	
世帯人員（人）	2.46	2.62	2.39	3.38	-	-	-	-	-
世帯主の年齢（歳）	73.7	68.4	74.7	48.4	-	-	-	-	-
消費支出	249,063	274,561	238,581	306,871	100.0	100.0	100.0	100.0	-
食料	70,192	74,992	67,928	74,977	28.2	27.3	28.5	24.4	1.16
住居	14,262	12,202	14,294	18,480	5.7	4.4	6.0	6.0	0.95
光熱・水道	21,201	21,008	20,399	21,159	8.5	7.7	8.6	6.9	1.23
家具・家事用品	9,687	11,393	9,183	10,807	3.9	4.1	3.8	3.5	1.11
被服及び履物	7,593	9,436	6,651	13,326	3.0	3.4	2.8	4.3	0.70
保健医療	15,256	15,251	14,812	11,123	6.1	5.6	6.2	3.6	1.69
うち健康保持用摂取品	1,874	1,949	1,895	825	0.8	0.7	0.8	0.3	2.67
うち保健医療サービス	8,676	8,645	8,355	5,999	3.5	3.1	3.5	2.0	1.75
交通・通信	28,390	36,885	26,014	47,000	11.4	13.4	10.9	15.3	0.75
教育	548	630	326	19,329	0.2	0.2	0.1	6.3	0.03
教養娯楽	25,500	25,982	25,162	30,140	10.2	9.5	10.5	9.8	1.04
その他の消費支出	56,434	66,782	53,814	60,528	22.7	24.3	22.6	19.7	1.15
うち交際費	26,251	26,424	25,357	16,918	10.5	9.6	10.6	5.5	1.91

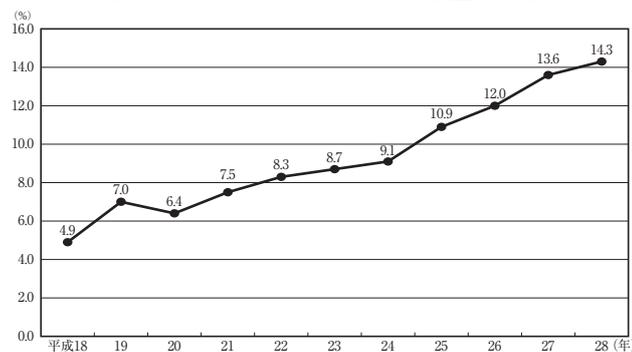
資料：「家計調査」（家計収支編）

(注) 表中の金額及び構成比は、表示単位に四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

10年間で2.9倍に上昇した高齢者世帯のネットショッピングの利用

世帯主が65歳以上である二人以上の世帯（高齢者世帯）について、ネットショッピングを利用した世帯割合をみると、平成28年は14.3%となり、18年（4.9%）からの10年間で2.9倍となっています。若い世代の利用が多いと思われるが、高齢者でも利用が増えていることがうかがえます。（図4）

図4 高齢者世帯におけるネットショッピングの利用割合の推移（平成18年～28年）（二人以上の世帯）



資料：「家計消費状況調査」

(注) 本文章の中では、「インターネットを利用しての商品・サービスの購入」のことを「ネットショッピング」と表記している。

なお、二人以上の世帯全体では、平成28年は27.8%となり、18年（12.7%）からの10年間で2.2倍となっています。

V 高齢者の暮らし

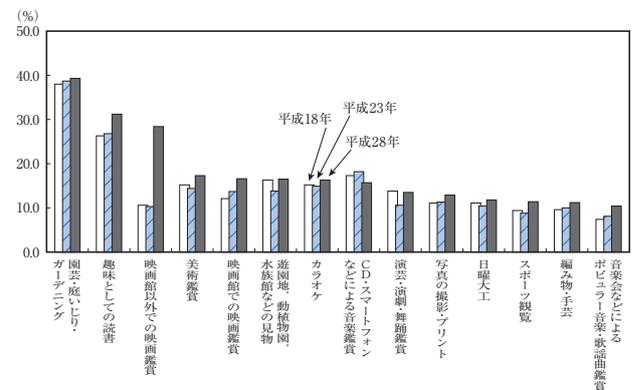
高齢者の趣味・娯楽は「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も多い

平成28年（平成27年10月20日～平成28年10月19日。以下同じ。）に何らかの「趣味・娯楽」を行った高齢者は2433万人で、高齢者人口に占める割合（以下「行動者率」といいます。）は76.1%となっています。これを平成23年と比べると4.0ポイント上昇しており、種類別では「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も高くなっています。（図5）

男女別にみると「写真の撮影・プリント」、「日曜大工」などは男性が高い一方、「園芸・庭いじり・ガーデニング」、「編み物・手芸」などは女性が高くなっています。（図6）

(※) 映画館以外での映画鑑賞は、平成23年は「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞（テレビからの録画は除く）」として調査、平成28年は「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」として調査しており、定義の変更があるため比較には注意を要します。

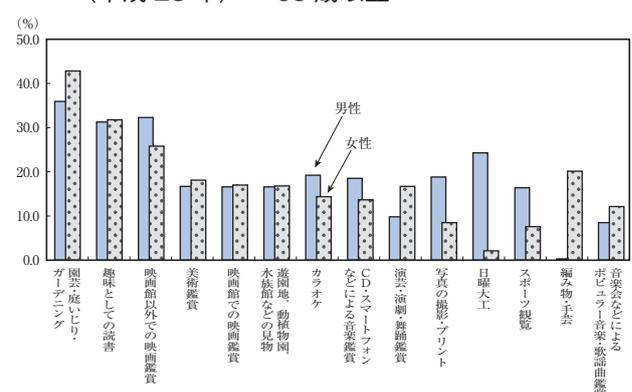
図5 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成18年～28年）－65歳以上－



資料：「社会生活基本調査」

(注) 行動者率が10%以上の種類を表章

図6 「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率（平成28年）－65歳以上－



資料：「社会生活基本調査」

(注) 男女総数の行動者率が10%以上の種類を表章

あなたの回答で見えてくる、より良い暮らし。

～ 4 つの統計調査の広報～

総務省統計局では、労働力調査、家計調査、小売物価統計調査及び個人企業経済調査の4つの統計調査を広く周知するため、毎年10月に広報を行っています。今年度は、インターネット広告を拡充し、民放テレビのオンデマンドや無料通話・メールアプリ「LINE」などの媒体を活用した広告を掲載します。

広報ポスターやリーフレットのデザインは、クローバーやハートをモチーフとすることで、温かみのある、より親しみやすいビジュアルとしています。キャッチコピーは、皆様の調査回答が暮らしに結びつき、役立てるために必要不可欠であることを示しています。また、この4つの統計調査が総務省統計局の統計調査であることをお伝えできるよう、国勢調査のイメージキャラクターのセンサスくんのみらいちゃんを採用しています。

その他、統計局ホームページ、YouTube 統計局チャンネルでは各統計調査の特徴や、皆様の身近な話題となるような雇用、消費、物価、経営に関する調査結果などを、センサスくんのみらいちゃんがナビゲーターとなって、ランキングやクイズ形式で紹介します。

媒体等	内容
新聞広告 (全国版朝刊)	読売新聞, 朝日新聞(10月中旬掲載予定)
インターネット広告	バナー広告 ・ Yahoo! JAPAN, Google, LINE ※LINEはスマートフォンのみ対応
	動画広告 ・ Facebook, YouTube
	日テレ系オンデマンドCM広告(10/9～10/22配信予定) ・ TVer, GYAO, 日テレ無料!(TADA) by 日テレオンデマンド
雑誌広告 (16誌)	AERA, an'an, エコノミスト, 大人のおしゃれ手帖, オレンジページ, サンデー毎日, 週刊新潮, 週刊ダイヤモンド, 週刊文春 等
統計局ホームページ	4つの統計調査の概要及び紹介 ・ 統計調査紹介ムービー(YouTube 統計局チャンネルへのリンク) ・ 各調査で見えてくるデータ ・ 統計調査クイズ王
YouTube 統計局チャンネル	調査結果をランキング形式で紹介 ・ 動画(140秒, 15秒)

詳しくは統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/info/kouhou/keijyou.htm> を御覧ください。

平成30年度概算要求の概要

政府は、平成25年度予算から平成29年度予算までの安倍内閣の歳出改革の取組を強化するとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化する「平成30年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」を去る7月20日に閣議了解しました。

総務省統計局、政策統括官（統計基準担当）では、この方針に従い、以下のとおり概算要求を行いましたので、その概要について御紹介いたします。

統計局が所管する経費としては、平成30年10月に実施する住宅・土地統計調査に必要な経費として、前回（25年度）と比べ約0.4億円の増額となる約78.4億円を

計上しています。また、「統計改革推進会議最終取りまとめ」（平成29年5月統計改革推進会議）等を踏まえ、経済センサス-基礎調査の準備費として12.1億円、サービス新統計の創設に係る準備経費として2.8億円を計上しています。

「新しい日本のための優先課題推進枠」としては、家計統計の改善、個人消費動向を捉える新たな指標の開発及び政府統計共同利用システム運用等経費などを要望しています。

政策統括官（統計基準担当）が所管する経費については、統計専任職員配置費、国連アジア太平洋統計研修協力費など約104億円を要求しています。

平成30年度概算要求額（主なもの）

（単位：千円）

事項	前年度予算額 (A)		平成30年度要求額 (B)		比較増△減額 (B-A)	
	総額	うち委託費	総額	うち委託費	総額	うち委託費
一般会計 (組織) 総務本省						
(項) 統計調査費	21,264,517	16,165,492	28,443,685	20,640,199	7,179,168	4,474,707
・労働力調査	1,545,379	1,501,585	1,626,800	1,511,921	81,421	10,336
・小売物価統計調査	764,529	665,590	991,985	716,770	227,456	51,180
・家計調査	1,167,138	1,124,437	1,196,855	1,151,716	29,717	27,279
・家計統計の改善	263,406	0	787,243	299,372	523,837	299,372
・個人企業経済調査	161,666	157,234	164,304	157,923	2,638	689
・科学技術研究調査	26,783	0	25,064	0	△ 1,719	0
・人口移動報告	3,195	0	3,453	0	258	0
・統計調査経常業務運営費	42,041	27,220	109,048	27,220	67,007	0
・家計消費状況調査	600,518	0	526,580	0	△ 73,938	0
・サービス産業動向調査	528,824	0	616,462	0	87,638	0
・サービス新統計の創設に係る準備経費	0	0	278,358	0	278,358	0
	[517,974]	[19,603]			[△ 65,237]	[22,029]
・国勢調査	190,975	24,779	452,737	41,632	261,762	16,853
	[44,000]	[0]			[△ 23,864]	[0]
平成27年国勢調査費	67,012	0	20,136	0	△ 46,876	0
	[473,974]	[19,603]			[△ 41,373]	[22,029]
平成32年国勢調査準備費	123,963	24,779	432,601	41,632	308,638	16,853
・経済センサス	468,669	23,764	1,272,278	80,834	803,609	57,070
	[135,572]	[0]			[△ 112,391]	[0]
平成28年経済センサス-活動調査費	31,250	0	23,181	0	△ 8,069	0
	[827,727]	[15,991]			[381,231]	[43,280]
平成31年経済センサス-基礎調査準備費	397,280	2,201	1,208,958	59,271	811,678	57,070
調査区管理費	40,139	21,563	40,139	21,563	0	0
	[7,800,230]	[6,879,164]			[36,426]	[△ 72,109]
・住宅・土地統計調査費	817,899	711,243	7,836,656	6,807,055	7,018,757	6,095,812
	[0]	[0]				
・全国消費実態調査費	0	0	29,309	0	29,309	0
	[4,815]	[0]			[138]	[0]
・就業構造基本調査費	2,206,161	2,059,467	4,953	0	△ 2,201,208	△ 2,059,467
	[2,135]	[0]			[△ 359]	[0]
・社会生活基本調査費	3,136	0	1,776	0	△ 1,360	0
・政府統計共同利用システム運用等経費	1,471,588	0	983,985	0	△ 487,603	0
・個人消費動向を捉える新たな指標の開発	655,325	0	804,115	0	148,790	0
・統計データ利活用の推進	39,483	0	251,534	59,937	212,051	59,937
・オンライン研修等統計人材育成の充実	0	0	138,626	0	138,626	0
・統計調査員対策費	82,315	50,150	75,276	50,150	△ 7,039	0
・産業連関表作成費	64,342	0	41,912	0	△ 22,430	0
・統計専任職員配置費	9,801,601	9,801,601	9,711,805	9,711,805	△ 89,796	△ 89,796
・国連アジア太平洋統計研修協力費	309,253	1,200	319,031	1,200	9,778	0
・統計調査の環境改善のための普及啓発活動費	31,363	17,222	26,952	15,773	△ 4,411	△ 1,449
・統計指導者講習会実施経費	0	0	4,411	1,449	4,411	1,449
・公的統計基本計画推進費	18,928	0	162,177	5,442	143,249	5,442

(注) []内は前回 (25年度) 予算額を示す。

中核市発とうけい通信③⑧

活力と緑あふれる太陽都市みやざき

宮崎市総務部情報政策課

宮崎市は九州南東部に位置し、大正13年4月1日の市制施行以来、宮崎県の県都として発展してきました。施行当時は人口約4万人の田園都市でしたが、その後町村合併や平成10年の中核市移行を経て、現在は人口約40万人を擁する南九州の中核都市となっています。

太陽と緑に象徴される本市は、南北38.3kmにわたる海岸線を有し、太平洋に沿って流れる黒潮のもたらす温暖な気候と豊かな自然に恵まれた都市です。青い海と空を一望できる日南海岸の堀切峠、亜熱帯植物の生い茂る青島、国道沿いにそびえる雄大なワシントンアパーム並木など、南国情緒あふれる景色が広がります。

●トップアスリートに選ばれるまち

本市は、快晴日数が年53日（全国第2位）、日照時間が年2116時間（全国第3位）、年平均気温17.4℃（全国第3位）といった全国でもトップクラスの気象条件に恵まれています。また、プロ野球チームに対応した野球場や公認陸上競技場などを始め、数多くのスポーツ施設を有しています。温暖な気候とおいしく豊かな食材、充実した施設の数々が大きな魅力となり、野球、サッカー、ラグビー、ゴルフ、陸上、トライアスロンなど年間約10種目、100団体以上ものスポーツキャンプ・合宿が盛んに行われています。

このような強みを活かし、本市ではプロ・アマチュア合宿の更なる誘致はもちろんのこと、青少年やシニア世代など幅広い世代が対象の各種スポーツ大会の開催支援等を通して、市民スポーツの活性化や生涯スポーツの振興にも力を入れています。



春季キャンプでにぎわうスタジアム

また、「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」（以下「東京オリンピック」といいます。）の事前キャンプ誘致にも

積極的に取り組んでおり、本年8月にはラグビー日本代表前HC（ヘッド・コーチ）であるエディ・ジョーンズ氏が現在HCを務めるイングランド代表チームによるキャンプ地視察が行われました。また、東京オリンピックに向け、ドイツ陸上競技連盟の2019年事前合宿及び2020年直前合宿も決定しています。

●新感覚の海の家「青島ビーチパーク」

かつては新婚旅行ブームもあり毎年約20万人が訪れていた青島海水浴場。海水浴客の減少とともに海の家も姿を消していましたが、活気のある青島を取り戻そうと2015年に「青島ビーチパーク」がオープンしました。初年度の来場者数は5万人、翌年2016年は13万人が来場、これに伴い海水浴客も23万人に回復するなど、青島地域の新しいスポットとして定着しつつあります。



青島ビーチパーク

パーク内には、コンテナを使った5つの飲食店舗に加えて、期間限定のポップアップショップが多数出店しています。コンテナの周囲にはパラソルとロングカウンターが並び、ハンモックやシェードボックス、立ち飲みカウンターなども設置。一面に広がる海と空を眺めながらリラックスした時間を過ごすことができます。日中はシーカヤックやスタンドアップパドルボードといったマリンスポーツを満喫でき、夜になれば、星空の下で波の音を聴きながら心身を癒やすビーチヨガ体験もできます。DJイベントや音楽ライブ、ワークショップなどのイベントも多数開催され、海外のビーチリゾートの様な雰囲気の中で、訪れた人それぞれが、海辺で思い思いの時間を過ごすことができる居心地のよい空間になっています。

今年は4月末から10月末までの半年間に期間を延長して営業中です。宮崎市にお越しの際は、是非「青島ビーチパーク」にお立ち寄りください！

最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計（二人以上の世帯）		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人 (Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	H27=100	東京都区部 H27=100	
実数	H29. 4	126,761	6500	2.8	275,224	103.8	30.5	295,929	384,297	100.3	99.9	
	5	P 12673	6547	3.1	269,968	100.1	P 30.4	283,056	308,120	100.4	100.1	
	6	P 12674	6583	2.8	433,043	102.3	P 31.5	268,802	593,992	100.2	99.9	
	7	P 12675	6563	2.8	370,823	101.5	P 31.1	279,197	480,878	100.1	99.7	
	8	P 12677	6573	2.8	P 274,490	P 103.6	...	280,320	401,134	100.3	100.1	
	9	P 12667	P 100.2	
前年同月比	H29. 4	-	1.2	* 0.0	0.5	* 4.0	3.0	-1.4	-1.5	0.4	-0.1	
	5	-	1.2	* 0.3	0.6	* -3.6	P 3.1	-0.1	-2.2	0.4	0.1	
	6	-	0.9	* -0.3	0.4	* 2.2	P 1.8	2.3	0.2	0.4	0.1	
	7	-	0.9	* 0.0	-0.6	* -0.8	P 1.5	-0.2	2.1	0.4	0.2	
	8	-	1.3	* 0.0	P 0.9	*P 2.1	-	0.6	1.6	0.7	0.5	
	9	-

(注) P：速報値 *：対前月
 家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値
 サービス産業の月間売上高の前年同月比は、前年の調整値を用いて計算した値

掲示板 統計関係の主要日程（2017年10月～11月）

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
10月2日	統計研修 統計基本課程「調査設計の基本」開講（～6日）	11月1日	オンライン講座 「初めて学ぶ統計—公務員のためのオンライン講座—」開講（～12月31日）
16日	第114回統計委員会、第83回基本計画部会	〃	オンライン講座 「統計データのできるまで—統計的推測の基礎—」開講（～12月31日）
25日	統計研修 統計専門課程「政策評価と統計」開講（～27日）	6日	統計研修 統計専門課程「国民・県民経済計算」開講（～10日）
26日	第115回統計委員会、第84回基本計画部会	13日	第67回全国統計大会
28日	統計データ・グラフフェア（～29日）	21日	第116回統計委員会、第85回基本計画部会

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
10月6日	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年8月分）公表	11月13日	個人企業経済調査（動向編）平成29年7～9月期結果（速報）公表
〃	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年9月分公表	14日	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）7～9月期平均速報）公表
13日	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）8月分）公表	〃	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）9月分及び平成29年（2017年）7～9月期）公表
20日	人口推計（平成29年5月1日現在確定値及び平成29年10月1日現在概算値）公表	20日	人口推計（平成29年6月1日現在確定値及び平成29年11月1日現在概算値）公表
27日	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）9月分、東京都区部：平成29年（2017年）10月分（中旬速報値））公表	22日	個人企業経済調査（動向編）平成29年7～9月期結果（確報）公表
〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）9月分、東京都区部：平成29年（2017年）10月分）公表	27日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）10月分）公表
30日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）9月分）公表	30日	サービス産業動向調査（平成29年9月分速報、平成29年7～9月期速報）公表
31日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）9月分（速報）及び7～9月期平均（速報）公表	〃	サービス産業動向調査（平成29年6月分確報、平成29年4～6月期確報）公表
〃	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）9月分速報）公表		
〃	家計調査（貯蓄・負債編：平成29年（2017年）4～6月期平均速報）公表		
〃	サービス産業動向調査（平成29年8月分速報）公表		
〃	サービス産業動向調査（平成29年5月分確報）公表		
11月2日	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年10月分公表		
7日	労働力調査（詳細集計）平成29年（2017年）7～9月期平均（速報）公表		
〃	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年9月分及び平成29年7～9月期平均、ICT関連項目：平成29年7～9月期平均）公表		

編集発行  総務省統計局
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計利用推進課 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyou1@soumu.go.jp
 ホームページ <http://www.stat.go.jp>
 御意見・御感想をお待ちしております。